



ふくしまイレブンは、福島県の多彩な農林水産物を代表する生産量が全国上位の11品目です。毎月おいしいアスリートを紹介します。

## 初恋物語

ふくしまイレブン 背番号6番もも

にぎやかな太鼓の音と、アナウンサーの実況中継が響き渡る。今年も、わらじまつりは大勢の人が楽しそうに行き交っている。

「おい、早くこいよー!」

たこ焼きを頬張りながら、佐々木が手招きしている。他の連中も、「置いてちやうよ!」などと笑いながら楽しそうに前を歩いている。

僕も、それに応えて少し手を挙げる。だけど、視線はそのワイワイと騒ぐクラスメイトの集団の向こう側にある、小さな背中を追っていた。その背中が絶対に振り返らない、とかたくなに僕を拒絶していた。

わらじまつりに、彼女を誘ったのは僕だった。すごく緊張して、誘う日は昼飯も食べなかつたくらいだ。帰り際、偶然を装って下駄箱で待ち伏せし、ごくさりげなく「まつり行くか。」と言ってみたところ、彼女は僕が驚くぐらい勢いよく「行く!」と返事をしてくれたのだ。

「浴衣を新調したから、すごい楽しみ。」とも言った。彼女が口をきいてくれなくなっただけでは、一昨日、佐々木たちが一緒に来ると知ってからだ。「あなたって、誰にでもやさしいのね。」その言葉を最後に、僕は今日この瞬間まで僕は彼女の声を聞いていない。

「こもちゃん、あそこでヨーヨー売ってるよ。」クラスメイトの女子が彼女に話しかけるのを、僕は遠くから眺めていた。僕と彼女の間は、わずか2メートルくらいの距離しか無いのに、何千キロも、何万キロも、何億光年も離れている気がした。あるいは、彼女が、とある家の玄関に飾られた、一輪挿しの花だとして、僕が宇宙のブラックホールに吸い込まれた小さな塵みたいな感覚だった。

ポン、と後ろから不意に肩をたたかれ、ビクツとして振り返った。佐々木がニヤニヤ立っている。「こもちゃん、甘いもんが食べたくなっていらしてんだ。女心をちゃんと読め。」

「自信満々だ。こういう時の佐々木は、胡散臭い。」「何の話だよ。」

「俺には全部お見通しだ。こもちゃんに笑顔を取り戻せるのはお前しかいない。」

佐々木は、慣れないウインクをしようとして両目をつぶった。彼女が甘いものを食べたくなっていらしてるとは考えがたかったが、瞬間、僕の目にわた菓子屋が飛び込んできた。

僕は、店のおじさんにわた菓子屋を3個くれと言った。その隣の店では、チョコバナナを、買った。道路を挟んだ側にある露店でかき氷を見つけた。そいつも買った。なんでもいいから彼女の笑顔が見たかった。浴衣がとてもかわいいから買った。こんなままでも終わりがたかない、そう思ってた。おこづかいをたいて甘いものを買った。

「長さ十二メートルの大わらじが、いま立ち上がるうとしています!」

国道十三号線に、興奮気味のアナウンスが響き渡り、僕は振り返った。「みなさん、ご覧ください! ものすごい迫力で!」

僕は呆然とした。大わらじが、クレーンで持ち上げられ、今にも立ち上げられようとしていた。だめだ、待ってくれ。僕はこの瞬間を彼女と見たかった。僕は、大わらじに向かって走り出した。人混みをかきわけて、僕は大声で彼女の名前を叫んだ。

「ついに、立ち上がりまます!」

だめだ、だめだ、やめてくれ!僕の心の叫びもむなし、大わらじはまぶしいスポットライトを遮って高々と立ち上げられた。ワイッと人々の歓声があがり、どろどろにとけたかき氷の液体が、僕のスニーカーを真っ青に染めていた。

僕は、膝をついて、歓声と拍手の渦に取り残されていた。

「...どうしたの!」

声を聞いて、はっと顔を上げると、そこには目まぐるしくしたこももが立っていた。僕は、感激のあまりしばらくこももを凝視していた。何を伝えようと思ったのか、走馬灯の様にぐるぐる考えていたけど、何も思い出せなかった。ただ、目の前に彼女がいることが、本当に、本当に嬉しかった。

涙が出そうになるのをこらえて、僕は、やっと彼女に言った。

「甘いもの、買って来たよ。」

「甘ったんこにつぶれたわた菓子を見て、彼女は大笑いした。それから、そっと白い手を僕にさしのべた。僕は、わた菓子やらでべとべとになった手で、彼女の手を握った。」

そのとき、遠くから、「おーい」と声がした。気づくと、佐々木が「いたいた!」と手を振っているのが見える。

「あーあ。二人で来たかったな。」

彼女はいたはずっぽく言って、くるくと僕に背中を向け、歩き始めた。その小さな背中からは、甘くとろけるような香りがただよっていた。

「あかつき」「ゆうぞら」など福島県のももは様々な品種で色々な味を7月から9月の長い期間楽しめるのが特徴。光センサー選果機を使っているのでも糖度も保証付き。全国に先駆けて確立した害虫防除方法は、なんと農薬不使用です! 皇室献上用としても有名な、安全・安心のももを、是非ご賞味ください。

もも

ふくしまイレブン販売促進協議会

